

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会に適用する規則は、2016年度日本陸上競技連盟競技規則および大会規定である。

2 練習について

練習はすべてサブトラックを使用する。ただし、サブトラックでの投てき練習は一切禁止する。

フィールド種目の練習は、競技場内で役員の指示により行う。練習時間は、棒高跳60分、その他の跳躍種目は30分、投てき種目は40分とする。

3 招集について

- (1) 場所は雨天練習場に設ける。
- (2) 種目別の開始時刻、完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) 手順
 - ① 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・腰ナンバーカード（左右両腰につける）とスパイクピンなどの確認を受ける。
 - ② 点呼の代理は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラムの末尾に綴込み）を提出し、あわせて招集に来ることが出来ない種目の点呼（ナンバーカード・腰ナンバーカード・スパイク等の確認）を受けておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理を認める。
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意志がないものとみなし処理する。
- (5) 当該種目を欠場する者は、あらかじめ棄権届を競技者係に提出すること。

4 競技について

- (1) レーン、試技はすべてプログラム記載の番号順とする。準決勝・決勝の組合せ（レーン順・試技順）はすべて番組編成員が行い、招集所およびCゲートに掲示する。
- (2) 競技結果については、場内アナウンスおよびスクリーンで発表する。
なお、競技結果が場内スクリーンに確定表示された時点をも、正式発表とする。
- (3) リレーオーダー用紙の提出について
各リレー種目のオーダー用紙は、すべて1日目の学校受付時に配付する。

ラウンド	提 出 先	提 出 時 刻
予 選	招集所入り口付近の オーダー用紙受付係	1組目の招集完了時刻の2時間30分前から 1時間30分前まで
準決勝・決勝	同 上	招集完了時刻の1時間10分前から40分前まで

準決勝・決勝のオーダー用紙は競技者係で受け取り、必要事項を記入し、必ず提出すること。
なお、リレーオーダー用紙の記入例をプログラム巻末に掲載しているので、参照のうえ間違いのないように記入すること。

- (4) 1500m・3000mSCは別（腰）ナンバーカード、5000m・女子3000m・5000m競歩は別（胸・腰）ナンバーカードを競技者係より受け取り使用すること。
4×400mにおいて第2・3走者は右腰に、第4走者は左右両腰に腰ナンバーカードをつけること。
- (5) 5000m・女子3000m・5000m競歩はグループスタートで行う。
- (6) トラック競技における次のラウンドへの進出について
 - ① $(+\alpha)$ を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。
(ア)レーンに余裕がある場合・・・同タイム(1/1000秒単位)の競技者の進出を認める。
(イ)レーンに余裕がない場合・・・本人または代理人により抽選する。
 - ② 同着により着取りによる進出者が増えた場合は、 $+\alpha$ での進出者数を減らす。
- (7) 競歩競技において、競技運営の都合上、男子は30分、女子は35分で競技を打ち切る場合がある。
- (8) リレー競走においては、出場者は同一のユニフォームを着用する。
(ア)上着については同一のもの以外は認めない。
(イ)パンツ、スパッツ等については同系色であれば認める。

競 技 注 意 事 項

- (9) フィールド種目において、競技運営の都合上、計測ラインを設ける場合がある。
- (10) 各種目 3 位まで（走高跳・棒高跳は上位 3 名、リレーは 6 位まで）に近畿大会出場資格が与えられる。
ただし、走高跳・棒高跳において 3 位が 2 名以上の場合は、近畿大会への出場資格決定戦を行う。

5 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、主催者が用意したものを使用すること。
- (2) 棒高跳用ポールは、自己のものを使用すること。
- (3) やりは競技場備え付けのものを用意するが、検査を受けて自己のものを使用してもよい。その際の検査場所および検査時刻は下記のとおりとする。

検査場所・・・南側（フィニッシュ側）用器具庫

検査時刻・・・1 年男 第 1 日 12：10～12：25 1 年女 第 1 日 8：00～8：15
2 年男 第 1 日 14：20～14：35 2 年女 第 1 日 10：00～10：15

6 フィールド競技の予選通過標準記録は下記のとおりとする。

種 目	1 年 男子	2 年 男子	1 年 女子	2 年 女子
走 高 跳	1 m 7 8	1 m 8 3	1 m 4 8	1 m 5 3
走 幅 跳	6 m 2 0	6 m 3 0	4 m 9 0	5 m 1 0
三 段 跳	1 2 m 8 0	1 2 m 8 5	-----	-----

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

走 高 跳	1 年 男子	予選	1m65(練)	1m70-75-78
		決勝	1m70(練)	1m75-80-85-88-91-94-97.....
	2 年 男子	予選	1m70(練)	1m75-80-83
		決勝	1m75(練)	1m80-85-90-93-96-99-2.02.....
	1 年 女子	予選	1m35(練)	1m40-45-48
		決勝	1m40(練)	1m45-50-55-60-63-66-69-72.....
棒 高 跳	2 年 女子	予選	1m40(練)	1m45-50-53
		決勝	1m45(練)	1m50-55-60-63-66-69-72.....
	1・2 年 男 子	決勝	2m50(練) ～3m80	2m60-80-3.00-10-20-30-40-50-60-70-80-90 4m00-10-20-30.....
		決勝	1m80(練) ～2m80	2m00-10-20-30-40-50-60-70-80-90-3m00-10 3m20-30-40.....

※ 1 位決定・近畿大会出場資格決定のバーの上げ下げは、走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

8 種目別表彰について

種目別 3 位までの表彰を行う。成績発表後直ちにロビーの受賞者席に集合すること。
(他種目に出場中の場合は代理人を出すこと。)

9 その他

- (1) 競技中、競技区域内に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技区域内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。なお、フィールド種目に出場している競技者が、それ以前の試技の映像をコーチ席以外の場所で見ると、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技エリア内に持ち込むことは認めない。
- (2) 写真撮影を希望する学校は、学校名入りの腕章を準備し、総務の許可を得て、1 校 1 名に限りスタンド下通路および撮影禁止区域での撮影を認める。
- (3) 競技場内での応援・横断幕については申し合わせ事項による。
- (4) スタンド、更衣室は常に清潔保持につとめ、ゴミ等は所定の場所に分別して捨てること。
- (5) 競技終了後、直ちに競技場の清掃を行うので、下記地区の生徒は所定の場所に集合すること。
第 1 日 丹有・但馬・淡路地区 第 2 日 阪神地区 第 3 日 神戸地区
- (6) 閉会式後、近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会の出場校顧問打合せを行う。